

国別技能評価システムの概要
(技能評価システム移転促進事業)

更新日：令和5年8月31日

株式会社 J T B

国名	カンボジア
所管政府機関	Directorate General of Technical Vocational Education and Training (DGTJET), Ministry of Labour and Vocational Training (MoLVT) 労働・職業訓練省 技術職業訓練教育総局
技能評価制度	<p>技術職業訓練教育総局において、2014年3月に発令された閣僚会議令(Sub-Decree)により承認されたカンボジア資格枠組み(Cambodia Qualification Framework : CQF)に基づき、職種、等級ごとに、標準訓練パッケージ(コンピテンシー・スタンダード(CS)、コンピテンシー・ベースのカリキュラム(CBC)、コンピテンシー・アセスメント・パッケージ(CAP))が開発中。(建設、自動車機械、ビジネス・情報通信技術の3つの業種を対象とし、計54職種について、レベル2-4にわたる標準訓練パッケージが完成)</p> <p>2020年9月に訓練パッケージが完成している33職種が、ナショナルトレーニングボードより公布された。また、コンピテンシー方式の評価制度確立のための開発は継続中である。</p>
実施体制	<p>【技能検定】 評価認定を実施するため、4つのセクター・スキルズ・カウンシル(SSC ; 産業分野別技能委員会)が、2018年7月10日に設立された。 <セクター・スキルズ・カウンシルとなった訓練施設> ・電気セクター : Preah Kossamak Polytechnic Institute (PPI) ・建設セクター : Polytechnic Institute of Angkor (NPIA) ・製造セクター : National Polytechnic Institute of Cambodia (NPIC) ・自動車セクター : Battambang Institute of Technology (BIT)</p> <p>アセッサーは、①官・民から認定された職業アセッサー、②官・民・プロジェクト(SESPPの認定評価者も含む。)その他から認定されたセクター・アセッサー・チームの2種類。 また、2023年8月現在、8つのアセスメントセンターが認定され、評価者は143人が認定され、3つの省(ストゥントゥレン、プレアヴィヒア、クラチェ)で13の職種の検定試験(自動車サービス、小型エンジン、石工、溶接、ワイヤリング等)が実施されている。</p> <p>8つのアセスメントセンターのうち、SESPPが支援している訓練校としては、現在、PPIが含まれているが、SESPP支援職種は認定されていない。</p> <p>2023年度は9職種の実施予定で、300人以上の受検者を見込んでいる。</p>
	<p>【技能競技大会】 2年に1回開催され、WorldSkills ASEAN 競技大会の選考を兼ねている。 2022年10月24-28日に8職種(①電工、②溶接、③れんが組立、④業務用ITソフトウェア・ソリューションズ、⑤WEBデザイン、⑥グラフィックデザイン、⑦タイル工事、⑧インダストリアルオートメーション)が実施され、NPIC、NTTI、PPI、ITI等13施設より合計61名が参加した。</p>

SESPP 支援職種	<p>【技能検定】 配電盤・制御盤2級・3級、シーケンス制御2級・3級、電気系保全3級、電工、旋盤3級、 情報配線施工3級、機械検査3級</p> <p>【技能競技大会】 2021 年度より支援を開始し、2022 年度は情報ネットワーク施工の競技課題採点・評価方法セミナーを現地研修 2 回、本邦研修 1 回実施した。</p>
今後の課題	<p>SESPP支援職種の国家検定化とそのためスケジュール策定(継続協議)。 技能競技大会での情報ネットワーク施工の競技職種への導入(2023.2 官民合同委員会)。</p>